広島県地方産業教育審議会の答申について

令和４年 11 月 11 日
高 校 教 育 指 導 課

１　答申日
令和４年 10 月 31 日

２　答申の概要
県教育委員会が諮問した「本県におけるこれからの産業教育の在り方」について，次の構成による答申が提出された。

【答申の構成】
１ 本県の産業教育を取り巻く現状
２ 目指す姿
３ 目指す姿の実現に向けた産業教育の方向性
４ 目指す姿の実現に向けた産業教育に関する方策

３　特色等
今回提出された答申は，次のような点が特色として挙げられる。

- 新型コロナウイルス感染症の拡大やウクライナ情勢の悪化等により，世界情勢が混沌としていることに触れ，「VUCA」といったキーワードなどを挙げつつ，産業教育を取り巻く現状が示されている。
- 現状を踏まえ，広島県地方産業教育審議会の答申として，目指す生徒の姿，教職員の姿，学校の姿が初めて整理されている。
- 目指す姿の実現に向けて，各学科の教育内容の充実はもとより，学科の枠を超えたカリキュラムの開発や教職員の資質・能力の向上，教育環境の整備等に係る方策が示されている。

４　審議の経過
(1) 諮問：令和３年８月 25 日
「本県におけるこれからの産業教育の在り方」について，次の３点を諮問した。

【諮問の柱】
１ 本県の産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力について
２ 社会や産業の変化に対応した教育内容の充実について
３ 主体的な学びの実現に向けた学習・指導の方法や教育環境の充実について

(2) 審議会〔第１回～第３回〕：令和３年８月 25 日～令和４年３月 29 日
諮問の柱の３点に係る協議，中間報告（素案）の審議等が行われた。

(3) 中間報告に係る県民意見募集：令和４年６月１日～令和４年６月 30 日
32 人から延べ 72 件の意見が寄せられた。

(4) 審議会〔第４回〕：令和４年 10 月３日
県民意見募集の結果等を踏まえた答申（案）の審議等が行われた。

５　今後の予定
答申を踏まえ，具体的な施策の推進に取り組むこととしている。

これまでの「商業・工業・農業」アップデートの取組

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
国・県の動き			「学びの変革」第三期スタート	高等学校学習指導要領の年次進行開始	
カリキュラムの開発・実施 商業	第１学年 カリキュラム【開発】科目「ビジネス基礎」等	第１学年 カリキュラム【開発・実施・検証】科目「ビジネス基礎」等	第２学年 カリキュラム【開発・実施・検証】学校設定科目「ビジネス探究EE」等	第３学年 カリキュラム【開発・実施・検証】科目「課題研究」	「学びの変革」第三期及び第7期広島県地方産業教育審議会答申を踏まえた施策の展開
カリキュラムの開発・実施 工業		第１学年 カリキュラム【開発】科目「工業技術基礎」等	第１学年 カリキュラム【開発・実施・検証】科目「工業技術基礎」等	第２学年 カリキュラム【開発・実施・検証】科目「実習」等	
カリキュラムの開発・実施 農業			第１学年 カリキュラム【開発】科目「農業と環境」等	第１学年 カリキュラム【開発・実施・検証】科目「農業と環境」等	
教職員の資質・能力の向上				新たなカリキュラム，設備に対応した指導力の育成	
教育環境の整備（設備の充実）			デジタル化に対応した設備の整備 文部科学省「スマート専門高校」事業		

生徒の学習の姿（商業科のカリキュラム）

第7期広島県地方産業教育審議会「本県におけるこれからの産業教育の在り方」について（答申）

イメージ図

生徒の姿

- 産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けている。
- 産業の各分野に関する課題を発見し，職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決している。
- 職業人として豊かな人間性を高め，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

教職員の姿

- 本質的な問いを設定する力，ファシリテートする力，教育活動全体をデザインする力，デジタル技術を活用する力等の時代の変化に対応した学びを創造する力を身に付けている。
- 情報化・技術革新等に関する知識・技術を身に付けている。
- 学び続ける姿勢を有している。

学校の姿

- 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ，よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標をもち，教育課程を介してその目標を社会と共有している。
- 教育内容の質の向上に向けて，様々な調査や各種データ等に基づき，教育課程を編成し，実施し，評価して，改善を図る一連のPDCAサイクルが確立されている。
- 地域の人的・物的資源を活用したり，産業界等との連携を図ったりし，学校教育を学校内に閉じずに，その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させている。

農業科の例

健全で持続的な社会の発展を担う
農業のチェンジメーカー！

商業科の例

多様で多彩な経済社会に対応できる
ビジネスエキスパート！

工業科の例

新たな価値を生み出し持続可能な社会の
構築を担うエンジニア！

「学科の枠を超えた」カリキュラムの開発

農業科の例

- ３年生 科目「課題研究」
- ２年生 科目「課題研究」等
- １年生 科目「農業と環境」等

■夢・志の実現に向けたＳＴＥＡＭ型ＰＢＬ（Project）の実践

◆社会の中で既有の知識を活用する場面の充実を図る学習

○「農業」を学ぶ意義や魅力を感じるＰＢＬ（Problem）型学習

商業科の例

- ３年生 科目「課題研究」
- ２年生 学校設定科目「ビジネス探究EE」等
- １年生 科目「ビジネス基礎」等

■夢・志の実現に向けたＳＴＥＡＭ型ＰＢＬ（Project）の実践

◆ビスネスプランの立案など起業家精神の育成を図る学習

○「商業」を学ぶ意義や魅力を感じるＰＢＬ（Problem）型学習

工業科の例

- ３年生 科目「課題研究」
- ２年生 科目「実習」等
- １年生 科目「工業技術基礎」等

■夢・志の実現に向けたＳＴＥＡＭ型ＰＢＬ（Project）の実践

◆デザイン思考を基に地域産業界・大学等と連携した創造的な学習

○「工業」を学ぶ意義や魅力を感じるＰＢＬ（Problem）型学習

教職員の資質・能力の向上

- ○ 探究的な学習活動を充実させるための研修等の実施（ファシリテート力養成研修等）
- ○ 産業社会の変化等に対応した教育活動を充実させるための研修等の実施（産業現場訪問・実習等）

等

教育環境の整備

- ○ 学校間の共同利用・産業界との連携を踏まえた各学校の施設・設備の整備計画の作成
- ○ 学校と産業界をつなぐコーディネーターの配置

等